

# エコアクション21 環境活動レポート

活動期間 平成30年7月1日～令和元年6月30日



第3版 発行

発行年月日 令和元年8月22日

有限会社 清水電気工事店

## 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境目標
6. 環境活動計画
7. 環境目標の実績
8. 環境活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の環境活動計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行日 : 令和元年8月22日  
発行責任者 : 環境管理責任者 津野武志

次回発行予定 : 令和2年 8月 頃

# 1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 清水電気工事店

【代表者氏名】 代表取締役 津野正一

【所在地】 〒787-0304 高知県土佐清水市元町10-1

## 【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 津野武志  
連絡先担当者 津野武志  
連絡先 TEL : 0880-82-0537  
FAX : 0880-82-3196  
E-mail: [tuno@dream.ocn.ne.jp](mailto:tuno@dream.ocn.ne.jp)

## 【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に電気工事を行っています。）

[建設業許可]

許可番号 高知県知事 一般（般-27） 第5926号

許可年月日 平成27年10月23日

建設業の種類 電気工事業 管工事業

## 【事業規模】

設立年月日 昭和33年 9月 1日 清水電気工事店 創業  
昭和61年 7月 1日 有限会社清水電気工事店 法人設立  
資本金 500万円

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
対象年月	平成26年7月 ～ 平成27年6月	平成27年7月 ～ 平成28年6月	平成28年7月 ～ 平成29年6月	平成29年7月 ～ 平成30年6月	平成30年7月 ～ 令和元年6月
完成工事高 (千円)	118,487	96,541	114,740	67,333	100,848
従業員数 (名)	5	5	6	7	6
事務所敷地面積 (㎡)	40	40	40	40	40
事務所延べ床面積 (㎡)	40	40	40	40	40

会計年度 7月 ～ 6月

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 清水電気工事店                      全社(全組織・全活動)  
住所      〒787-0304 高知県土佐清水市元町10-1

### 【レポートの対象期間】

平成30年 7月～令和元年 6月

### 【環境活動レポートの発行日】

令和元年 8月22日

### 【次回環境活動レポートの発行予定日】

令和2年 8月頃

### 【作成責任者】

環境管理責任者 津野武志

### 3. 環境経営方針

#### 【環境経営理念】

有限会社清水電気工事店は、土佐清水市の豊かな自然を次世代に継承するため、地球温暖化防止・建設工事の事業活動において環境負荷の低減を図るため、継続的な改善による環境経営を推進していきます。

#### 【基本方針】

1. 事業活動において、省エネルギー・廃棄物の発生抑制及び適正処理の推進。また、環境に配慮した製品・工事の提案・施工を積極的に行います。
2. 電力・燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量の低減に努めます。
3. 資材の有効利用を図り、廃棄物の削減及び再資源化を図ります。
4. 節水活動に取り組み水使用量の削減に努めます。
5. 環境負荷の少ない、グリーン製品の優先購入に努めます。
6. 環境関連法規及び条例を順守します。
7. 全社員に環境方針を周知し、環境保全の意識を高めます。
8. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてまとめ公表します。
9. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。

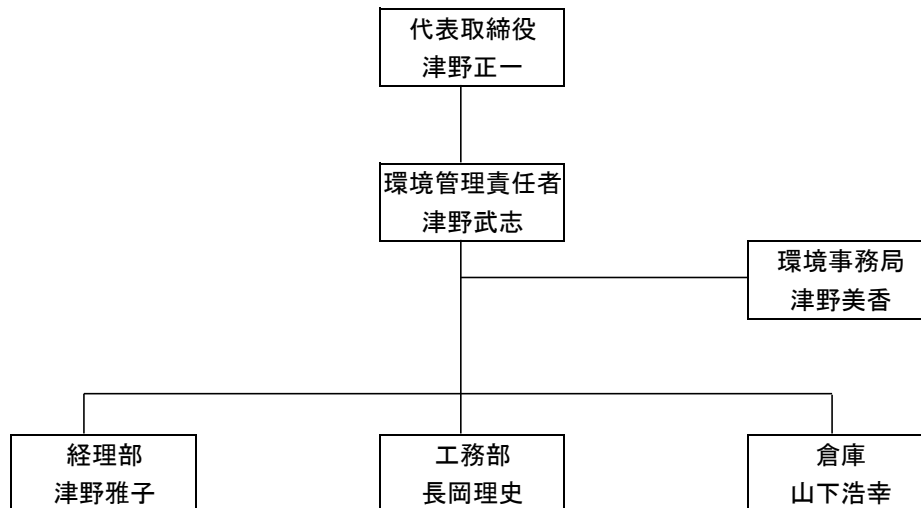
制定日：平成28年11月 1日

改正日：令和元年 7月 1日

有限会社 清水電気工事店  
代表取締役

津野正一

## 4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任</li> <li>・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備</li> <li>・ 環境管理責任者を任命</li> <li>・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・ 環境目標、環境活動計画、環境管理組織体制を承認</li> <li>・ 代表者による全体評価と見直し実施</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・ 環境目標、環境活動計画、環境管理組織体制を確認</li> <li>・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・ 環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局</li> <li>・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・ 環境目標、環境活動計画、環境管理組織体制原案の作成</li> <li>・ 環境活動の実績集計</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・ 環境活動レポートの作成、公開</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施</li> <li>・ 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告</li> <li>・ 自部門に係る緊急事態訓練の実施</li> <li>・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 環境目標（平成30年度）

### （1）単年度目標（平成30年7月～令和元年6月）

項目	単位	平成27年度 基準年 H27.7-H28.6	平成30年度 目標 H30.7-H31.6
燃料使用量 ガソリン	(ℓ)	5,578	5,410 (-3%)
燃料使用量 軽油	(ℓ)	417	404 (-3%)
電力使用量	(kWh)	19,538	18,951 (-3%)
CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	26,268	25,479 (-3%)
用水使用量	(m <sup>3</sup> )	786	762 (-3%)
一般廃棄物排出量	(kg)	100	97 (-3%)
産業廃棄物排出量	(t)	21	20.37 (-3%)
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100
グリーン購入量	(%)	27	45
環境負荷の少ない 工事件数	(件)	9	全件

\* 1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数（平成26年度実績）  
（平成27年11月30日公表）の四国電力の実排出係数0.676（kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を使用した。

\* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）

\* 3. 環境負荷の少ない工事件数（請負金額が100万円以上の工事）

- LED照明の促進
- 工事看板の間伐材使用
- 省エネ機器の提案

### （2）中長期目標

項目	単位	平成27年度 実績(基準年) H27.7-H28.6	平成30年度 目標 H30.7-H31.6	平成31年度 目標 H31.7H32.6	平成32年度 目標 H32.7-H33.6	平成33年度 目標 H33.7-H34.6
燃料使用量 ガソリン	(ℓ)	5,578	5,410 (-3%)	5,354 (-4%)	5,299 (-5%)	5,243 (-6%)
燃料使用量 軽油	(ℓ)	417	404 (-3%)	400 (-4%)	396 (-5%)	391 (-6%)
電力使用量	(kWh)	19,538	18,951 (-3%)	18,756 (-4%)	18,561 (-5%)	18,365 (-6%)
CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	26,268	25,479 (-3%)	25,217 (-4%)	24,954 (-5%)	24,691 (-6%)
用水使用量	(m <sup>3</sup> )	786	762 (-3%)	754 (-4%)	746 (-5%)	738 (-6%)
一般廃棄物排出量	(kg)	100	97 (-3%)	96 (-4%)	95 (-5%)	94 (-6%)
産業廃棄物排出量	(t)	21	20.37 (-3%)	20.16 (-4%)	19.95 (-5%)	19.74 (-6%)
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100	100	100	100
グリーン購入量	(%)	27	45	50	55	55
環境負荷の少ない 工事件数	(件)	9	全件	全件	全件	全件

## 6. 環境活動計画 (平成30年度)

期間： 平成30年7月 ～ 平成31年6月

項目		活動内容		担当者	期間
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの実施	継続	長岡理史	H30.7～H31.6
		○アイドリングストップの徹底	継続		
		○車両の軽量化	継続		
		○タイヤ空気圧の確認	継続		
	電力使用量 削減	○不要照明の消灯	継続	環境事務局 津野美香	H30.7～H31.6
		○節電シールの貼付け	継続		
		○エアコンの温度管理	継続		
		○0A機器の電源OFF	継続		
		○センサー付照明器具の設置	新規		
		○エアコンフィルターを定期的に掃除する	新規		
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水シールの貼付け	継続	環境管理責任者 津野武志	H30.7～H31.6	
		○車両の洗車時に水を流しっぱなしにしない			新規
廃棄物削減	一般廃棄物	○両面コピーの促進	継続	環境事務局 津野雅子	H30.7～H31.6
		○使用済みコピー用紙の再利用	継続		
		○印刷前の文章を確認し、印刷ミスを減らす	新規		
		○FAXは必要なものだけを印刷する	新規		
	産業廃棄物	○材料の端材をできるだけ少なくする	継続	山下浩幸	
		○廃棄物の分別	継続		
グリーン購入	○エコマーク製品の購入を推進	継続	環境事務局 津野雅子	H30.7～H31.6	
環境負荷の少ない工事実施	○LED照明の促進	継続	環境管理責任者 津野武志	H30.7～H31.6	
	○工事看板の間伐材使用	継続			
	○省エネ機器の提案	継続			



## 7. 環境目標の実績

### (1) 本年度実績

項目	単位	基準年 平成27年度 H27.7-H28.6	平成30年度 目標 H30.7-R1.6	平成30年度 実績 H30.7-R1.6	達成率 (%) 実績/目標	評価
化石燃料使用量						
ガソリン	(ℓ)	5,578	5,410	5,571	102%	×
軽油	(ℓ)	417	404	600	148%	×
電力使用量	(kWh)	19,538	18,951	19,395	102%	×
CO <sub>2</sub> 排出量	(kg-CO <sub>2</sub> )	26,268	25,479	27,597	108%	×
用水使用量	(m <sup>3</sup> )	786	762	645	84%	○
一般廃棄物排出量	(kg)	100	97	76	78%	○
産業廃棄物排出量	(t)	21	20.37	0.50	2%	○
産業廃棄物再資源化率	(%)	100	100	100	100%	○
グリーン購入量	(%)	27	45	32	71%	×
環境負荷の少ない 工事件数	(件)	9件/9件	全件	14件/14件	—	○

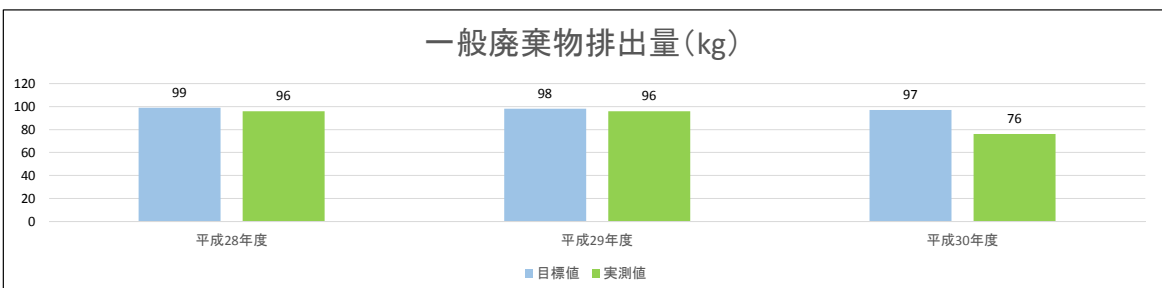
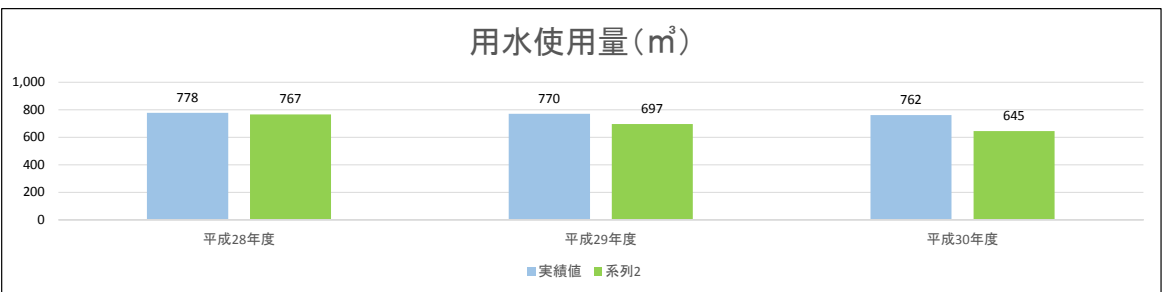
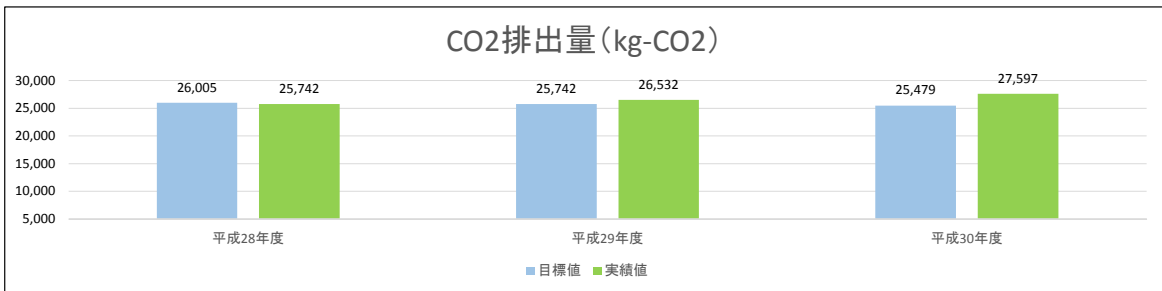
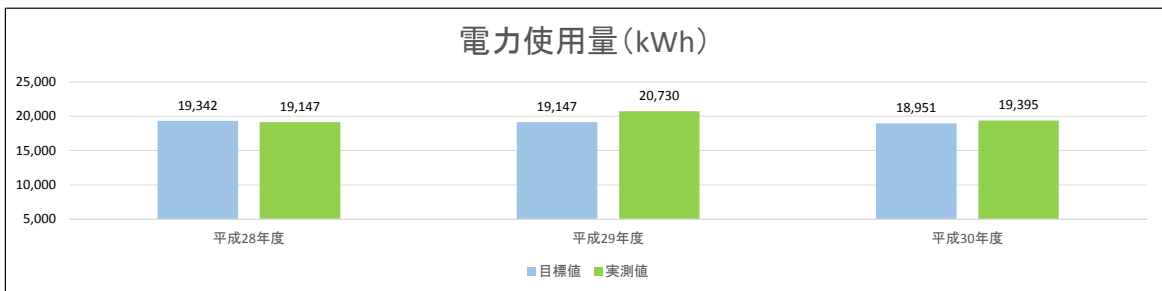
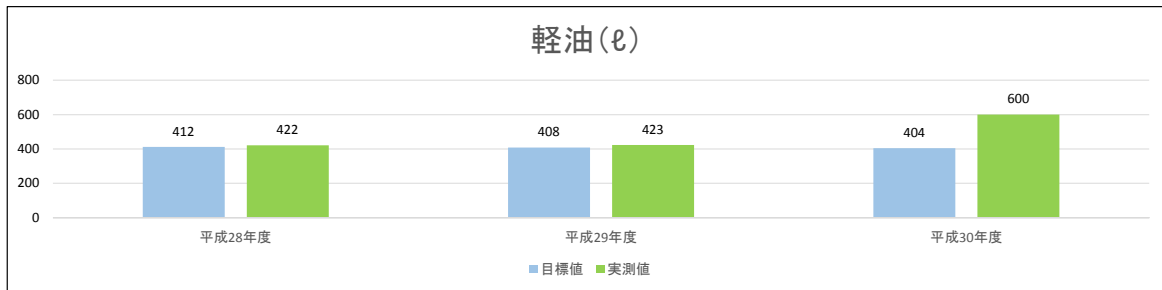
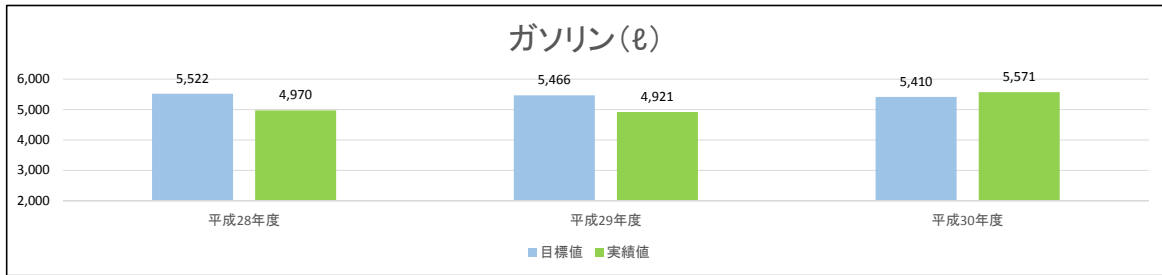
- \* 1. 電力のCO<sub>2</sub>発生量については、電気事業者別のCO<sub>2</sub>排出係数（平成26年度実績）  
（平成27年11月30日公表）の四国電力の実排出係数0.676（kg-CO<sub>2</sub> / kWh）を使用した。
- \* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
- \* 3. 環境負荷の少ない工事件数（請負金額が100万円以上の工事）  
○LED照明の促進  
○工事看板の間伐材使用  
○省エネ機器の提案
- \* 4. 評価 : 達成 ○、未達成 × 等で記載するか、「達成」、「未達成」等の言葉で記載する。

＜環境目標未達成理由＞	
ガソリン	現場が遠方だったので使用量が増え目標を達成できなかったが、削減の意識は継続する。
軽油	現場が遠方だったので使用量が増え目標を達成できなかったが、削減の意識は継続する。
電力使用量	目標を達成できなかったが、前年度よりは減少できた。 対策として、月に1度電力使用量の確認を社内で行う。
CO <sub>2</sub> 排出量	ガソリン・軽油の使用量が増えたため目標を達成できなかったが、削減の意識は継続する。
グリーン購入量	出来るだけグリーン商品購入を促進したが目標達成できなかった。 今後の対策として、社内にグリーン商品対象の環境ラベルを掲示し意識を高める。

### (2-1) 環境負荷の実績推移（平成28年～平成30年）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
ガソリン(ℓ)	目標	5,522	5,466	5,410
	実績	4,970	4,921	5,571
軽油(ℓ)	目標	412	408	404
	実績	422	423	600
電力使用量(kWh)	目標	19,342	19,147	18,951
	実績	19,147	20,730	19,395
CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	目標	26,005	25,742	25,479
	実績	25,742	26,532	27,597
用水使用量(m <sup>3</sup> )	目標	778	770	762
	実績	767	697	645
一般廃棄物排出量(kg)	目標	99	98	97
	実績	96	96	76
産業廃棄物排出量(t)	目標	20.79	20.58	20.37
	実績	0.36	0.00	0.50

(2-2) 環境負荷の実績推移 (平成28年～平成30年)



## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間：平成29年 7月 ～ 令和元年 6月

○・・・取組が守れている

△・・・取組がほぼ守れているが完全ではない

×・・・取組が守れていない

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料使用量削減	エコドライブの実施	よく出来ている	○	継続実施する
		アイドリングストップの徹底	よく出来ている	○	継続実施する
		車両の軽量化	よく出来ている	○	継続実施する
		タイヤ空気圧の確認	確認していない月があった	△	実施を徹底する
	電力使用量削減	不要照明の消灯	よく出来ている	○	実施を徹底する
		節電シールの貼付け	よく出来ている	○	継続実施する
		エアコンの温度管理	冷暖房の適正温度は、守れていない時があった	△	実施を徹底する
		OA機器の電源OFF	よく出来ている	○	継続実施する
		センサー付き照明器具の設置	よく出来ている	○	継続実施する
		エアコンフィルターを定期的に掃除する	よく出来ている	○	継続実施する
用水使用量削減 (排水量削減)	節水シールの貼付け	よく出来ている	○	継続実施する	
	車両の洗車時に水を流しっぱなしにしない	よく出来ている	△	継続実施する	
廃棄物削減	一般廃棄物	両面コピーの促進	よく出来ている	○	継続実施する
		印刷前の文書を確認し、印刷ミスを減らす	よく出来ている	○	継続実施する
		FAXは必要なものを印刷する	よく出来ている	○	継続実施する
		使用済みコピー用紙の再利用	よく出来ている	○	継続実施する
	産業廃棄物	材料の端材をできるだけ少なくする	よく出来ている	○	継続実施する
		廃棄物の分別	よく出来ている	○	継続実施する
グリーン購入	エコマーク製品の購入を推進	事務用品購入の際は、徐々に意識が高まっている	△	実施を徹底する	
環境負荷の少ない工事実施	LED照明の促進	よく出来ている	○	継続実施する	
	工事看板の間伐材使用	よく出来ている	○	継続実施する	
	省エネ機器の提案	よく出来ている	○	継続実施する	

## 具体的な取組状況

(1) 燃料使用におけるCO2排出量削減  
啓発活動（燃料使用量削減）



(2) 電力使用におけるCO2排出量削減  
昼休みの時間は消灯



事務所照明LED化



啓発活動（節電）



啓発活動（エアコン設定温度の適正化）



エアコンを消費電力の少ない機種に取替



## 2. 用水使用量の削減

啓発活動（節水）



## 3. 廃棄物の削減

廃棄物の削減（不用紙の分別）



廃棄物の削減（不用紙の再利用）



廃棄物の削減（FAXは液晶画面で確認後印刷）



廃棄物の削減（段ボールは分別しリサイクル）



## 9. 次年度の環境活動計画

期間： 令和元年7月 ～ 令和2年 6月

項目		活動内容		担当者	期間
CO <sub>2</sub> 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブの実施	継続	長岡理史	R1.7~R2.6
		○アイドリングストップの徹底	継続		
		○車両の軽量化	継続		
		○タイヤ空気圧の確認	継続		
	電力使用量 削減	○不要照明の消灯	継続	環境事務局 津野美香	R1.7~R2.6
		○節電シールの貼付け	継続		
		○エアコンの温度管理	継続		
		○0A機器の電源OFF	継続		
		○エアコンフィルターを定期的に掃除する	継続		
	用水使用量削減 (排水量削減)	○節水シールの貼付け	継続	環境管理責任者 津野武志	R1.7~R2.6
○車両の洗車時に水を流しっぱなしにしない			継続		
廃棄物削減	一般廃棄物	○両面コピーの促進	継続	環境事務局 津野雅子	R1.7~R2.6
		○使用済みコピー用紙の再利用	継続		
	産業廃棄物	○材料の端材をできるだけ少なくする	継続	山下浩幸	
		○廃棄物の分別	継続		
グリーン購入	○エコマーク製品の購入を推進	継続	環境事務局 津野雅子	R1.7~R2.6	
環境負荷の少ない工事実施	○LED照明の促進	継続	環境管理責任者 津野武志	R1.7~R2.6	
	○工事看板の間伐材使用	継続			
	○省エネ機器の提案	継続			

## 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
	第11条	○事業者はその廃棄物を自ら処分すること	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 ○産業廃棄物の委託契約	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
	第12条の三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第9条、第10条	○分別解体等の実施義務	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
フロン類使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）		○登録業者に処分を発注する	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
電気事業法	第1条	○電気事業の適正かつ合理的な運営 ○電気使用者の利益保護 ○電気工事業の健全な発達 ○電気工作物の工事、維持及び運用の規制による公共の安全確保と環境保全	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
浄化槽法	第10条 第11条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	年1回	環境事務局	遵守	令和元年6月30日
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
土佐清水市廃棄物及び清掃に関する条例	第4条	○事業者は事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない	必要時	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日
消防法	第17条の3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	環境管理責任者	遵守	令和元年6月30日

### (2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

平成30年7月より令和元年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



11. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>【取組状況の評価結果】</b>				<b>【環境方針】</b>	
①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規制等の違反はありません。				変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 今期内的の問題点の是正はありません。				特に変更の必要性は無いので、引き続き環境方針に沿って活動を継続する。	
③前回までの代表者の指示事項への対応					
<改善提案>				<b>【環境目標・環境活動計画】</b>	
<b>【目標・環境活動計画の達成状況】</b>				変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	・工事現場が遠方で燃料使用量が目標達成出来なかったが、車両の軽量化及びアイドリングストップ等徹底していく。  ・電力使用量が目標達成出来なかったが、昨年よりも減少したので活動を継続していく。	
燃料使用量	×	○	遠方での仕事が多く未達成。		
電力使用量	×	○	周知徹底し、改善します。		
CO2排出量	×	○	周知徹底し、改善します。		
用水使用量	○	○	継続して取り組む。		
廃棄物排出量	○	○	継続して取り組む。		
グリーン購入量	×	△	周知徹底し、改善します。		
環境負荷の少ない工事件数	○	○	継続して取り組む。		
<改善提案> 目標達成出来なかった項目については、社内会議で情報を共有し問題点を改善していく。				<b>【その他】</b>	
				変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
				エコアクション21はシステムとして有効に機能しています。	
<b>【周囲の変化の状況】</b>				<b>【総括】</b> (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
①外部コミュニケーション記録より 外部からの苦情及び要望等はありませんでした。				エコアクション21に取組み3年、全社員が内容を理解し始め、燃料使用量の削減・節電・節水等、環境負荷にやさしい活動が根付いてきました。しかし、まだまだ目標達成できていない項目もあるため社内会議にて情報共有し問題点を検討・改善していきます。引き続き社員一同で環境意識を常に心がけ、エコアクション21に取組んでいきます。	
②環境関連法規制等の動向他 ありません。					
<改善提案>					
<b>代表者が自ら得た情報</b>					